



ちょっとお出かけ い〜な旅  
2018/5/17 (木)

## 平成 30 年度 第 2 回ツアー 縄文のビーナスを訪ねて

い〜なガイドの会  
い〜な旅チーム  
城倉 徳子

行程

茅野市尖石縄文考古館  
諏訪大社上社

新緑の心地よい風が吹き渡る5月17日は絶好の旅日和。

今回は、伊那市役所 → ナイスロード → 杖突峠 → 尖石縄文考古館 → 諏訪大社上社 → 昼食 → 蚕糸博物館 → 伊那市役所 という太古から近代までの歴史を訪ねた。

バスは三峰川沿いの田園地帯を走り高遠城下町を過ぎると、参勤交代の道「杖突街道」だ。街道沿いには集落が続き、長藤地区は江戸時代の高遠石工 守屋貞治の生誕地。

藤沢地区の御堂垣外は高遠のお殿様が城を出て最初の宿場であり、本陣跡や脇本陣のたたずまいが残っている。

杖突峠の展望台で下車すると空気が爽やかで、眼下には諏訪盆地が広がっていた。中央構造線、フォッサマグナ、霧ヶ峰高原、八ヶ岳連峰など、説明を聞きながら眺望を楽しんだ。

尖石縄文考古館では、国宝の「縄文のビーナス」や「仮面の女神」に感動。学芸員の案内でさまざまな土器や石器を見学し、縄文文化に思いを馳せた。近くにある竪穴住居に入ると四隅に太い柱が立ち、中は真っ暗。それでも過酷な自然のなかで生きていく工夫が感じられた。

次は諏訪大社へ向かった。上社本宮の広い境内を拝殿や見事な古木、想像以上に

大きな御柱に圧倒されながら散策を楽しんだ。

昼食は諏訪市公設地方卸売市場の中にある市場食堂・燦を利用した。市場直送の新鮮な素材を使った食事に参加者は大満足だった。

午後は「蚕糸博物館」の見学。岡谷はかつて世界一の生糸の生産地だった。工場で働く女性工員たちは、それぞれが家の現金収入源であり、家を支え、岡谷の製糸産業を支えていたのだ。博物館では今も繭糸をとる様子や自動繰糸機稼働の様子を見ることができ、心に残る旅になった。